

東海国立大学機構名古屋大学国際本部国際言語センター
日本語・日本文化教育部門教員募集要領

名古屋大学国際本部では、国際本部国際言語センターにおける日本語教育プログラムのカリキュラムの立案、コーディネーション、日本語の授業担当、その他国際言語センターに関わる各種業務を行うため、准教授もしくは講師を下記により募集します。

記

1. 募集人員：准教授もしくは講師 1名
2. 所属：名古屋大学国際本部国際言語センター日本語・日本文化教育部門
3. 職務内容：下記の職務を名古屋大学国際本部国際言語センターにおいて、他の教職員とともに担当する。
 - (1) 名古屋大学の国際化に向けた日本語教育プログラムの立案・企画・運営
 - (2) 日本語プログラムのコーディネーション、カリキュラムの作成、教材開発および授業担当
 - (3) 国際言語センターの運営に関わる各種業務およびその他の学内外の部局・機関との連携に関わる各種業務
 - (4) 上記(1)(2)(3)に寄与する日本語教育・応用日本語学分野の研究
 - (5) 審査の上、大学院人文学研究科応用日本語学分野と密接に関係する科目の担当、大学院生の研究指導及び修士・博士論文の審査を担当する可能性がある
4. 応募資格：
 - (1) 日本語教育、または関連分野において博士の学位を取得しているか取得見込みの者、又は同等の学歴又は経験を有する者
 - (2) 日本語および英語で上述3.の職務を円滑に遂行できる者
 - (3) 国際交流の推進と留学生への支援に対する幅広い展望と熱意を有すること
 - (4) 国内外の高等教育機関における日本語教育歴が3年以上あること（個人授業、TAは除く）
 - (5) 日本語プログラムのコーディネーション及び様々なタイプの日本語科目の授業担当経験があることが望ましい
5. 採用に関する条件
 - (1) 採用予定年月日：令和4年10月1日
 - (2) 給与は、名古屋大学職員給与規程に基づき支給する
 - (3) 任期5年（評価の上、更新の可能性あり。更新後は任期の定めのない雇用に転換する）
6. 提出書類：
 - (1) 履歴書（様式自由、語学力の記載を含む、電話番号およびE-mailアドレスを記入すること）
 - (2) 上記職務に関連する業績一覧および活動歴について下記の項目に分けて記すこと
 - 【日本語教育実践歴】今まで担当したコースもしくは科目、使用教材、業務内容を記すこと
 - 【研究業績一覧】査読の有無を明記のこと、書籍等があれば表紙のみをPDF形式とすること
 - 【その他】上記以外（科学研究費等の外部資金の獲得、受託教育研究活動等に関連する内容等）
 - (3) 「留学生と大学の国際化」について抱負を述べた文章（応募動機を含む）
（日本語A4サイズ1200字程度、又は英語A4ダブルスペース3枚程度）

(4) 推薦書1通(必須)、加えて人物などについて照会できる方1名の氏名と連絡先(電話番号およびE-mailアドレス)。

※なお、選考の過程で、追加の書類提出を求めることがある。

7. 選考方法：書類選考の上、二次選考として模擬授業及び面接を実施し、採否を決定します。

※模擬授業に関する詳細は二次選考の連絡の際にお伝えします。

8. 応募書類提出期限：令和4年6月10日(金) 17時00分必着

9. 応募書類提出先：kiban-jinji@adm.nagoya-u.ac.jp

6の(1)～(4)の書類をPDF形式でメール送付いただきますようお願いいたします。

※メールの標題に「国際本部国際言語センター日本語・日本文化教育部門教員募集への応募」と明記してください。

10. 問い合わせ先：

＜手続きに関すること＞

名古屋大学教育推進部基盤運営課 専門職員 加藤

電話：052-789-2191

＜職務内容に関すること＞

名古屋大学国際本部国際言語センター日本語・日本文化教育部門長 許 明子

電話：052-789-4703

11. その他

(1) 面接のための交通費は自己負担とします。

COVID-19 蔓延状況によってはオンライン形式での面接の場合もあります。

(2) 提出いただいた書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

(3) 選考結果等の連絡は、履歴書に記入された電話番号、E-mail アドレス又は郵送で行います。

(4) 提出いただいた書類は、本選考のためだけに使用し、それ以外には使用しません。

(5) 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。

以上